

高信頼性ICタグ

現場は目視重視

人間の目はかなり精度のよい検出器です。それは異常を認識する能力に優れているからです。ですから、現場の点検は今もこれからも目視重視には間違いありません。

また、現場には沢山の計測器があり一つ一つを記録しなければならないものが沢山あります。テレメータ化していればよいかもしれませんが、必ずしもそうとはかぎりません。

RFIDは電池なしのパッシブタイプと、電池ありのアクティブタイプに大きく分かります。パッシブタイプは電池なしで便利ですが、現場の守備範囲がかなり限定されています。

省エネルギーを考慮したアクティブタイプはこれから大きく発展するのではないかと考えています。やはり、現場の目視重視に加えて、機能性のあるデバイスは人間の観察力を補完していくものと考えています。

是非、(株)R&Vの「光り玉」をご検討いただきたく切にお願いする次第でございます。